



# 六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 4. 27

No. 4

## 地域と一体となった総合学習

今年度から、六郷小学校の「総合的な学習の時間」を大きく改善することになりました。内容は次の通りです。

学年	テーマ	主な学習活動（予定）
3年	「六郷の自慢を守ろう」	① 保護者や地域の方々にインタビューする。 ② 見つけた自慢を詳しく調べ、自慢を守る方法を考える。 ③ 調べた結果や守るための実践をまとめる。 ④ 「六郷の自慢」を地域の方々などに紹介する。
4年	「未来の福祉をえがこう」	① 美郷町の福祉の課題を見つける。 ② 福祉の課題について詳しく調べる。 ③ 課題の解決する方法を考え、未来の福祉の姿をまとめる。 ④ 自分たちで描いた「未来の福祉」を発表する。
5年	「六郷の商店街を盛り上げよう」	① 六郷の商店街の抱える課題を把握する。 ② 職場体験やインタビューを通して、課題を詳しく調べる。 ③ 課題を解決する方法を実践する。 ④ 商店街の活性化についてのまとめや実践したことを発表する。
6年	「町づくりを自分たちの手で」	① 六郷の将来について課題を把握する。 ② 体験やインタビューを通して、課題を詳しく調べる。 ③ 自分たちができる「町づくり」を考え実践する。 ④ 取り組んだ実践内容や思いをいろいろな方々に聞いてもらう。

### 1 改善する思いとは？

#### 1 美郷町に残って、美郷町で汗して働く人を育てたい。

これまで学校は、勉強を頑張らせては来ましたが、ふるさとの良さを知り、ふるさとを心から愛せる子ども達を育ててきたかという、自信をもってそうだとは言えません。そこで、こういった取組を通して、美郷町を愛せる子ども達を育てたいと思います。

#### 2 「単なる調べ学習」から「人と関わって学ぶ学習」へ

これまで、インターネットや本で調べることが中心でした。しかし、それは本当の勉強にはなりません。地域の方々の生き方を知り、思いを感じることで、自分たちがやるべきことが見えてきます。いろいろな方との触れ合いを通して、本当に大切なことは何かを考えさせたいと思います。

#### 3 「地域課題」「地域貢献」

小学生であっても、地域に貢献することはできます。小学生であっても、地域課題を探って、その改題を解決に近づけることはできます。美郷町の住民の一人として、子ども達なりに、美郷町に貢献できる活動を実行させたいと思います。

#### 4 「生きる」とは何かを感じさせたい。

たくさんの大人と対等に関わり、一人ひとりの大人の生き方、考え方を知り、「生きる」ことの意味を感じさせたいと思います。自分たちでやりたいことが生まれたら、先生ではなく、直接地域の大人とやり取りできたらと願っています。どれだけの人数の大人と関われたかが、その子の人生を大きく左右する気がします。

## 2 第1回目の総合学習協力者

総合学習がスタートしています。第1回の学習は、それぞれの学年が「課題の発見」をすることが目的となります。そこで、下記のような地域の方々にお越しいただいて、お話をして頂いたり、インタビューをさせて頂いたりすることになりました。この方々には、今回だけでなく、子ども達への支援を継続的にお願いすることになります。

- ( 3年 ) 工藤貢示 (観光協会) 中野隆晴 (教育委員会) 熊谷弘子 (主任児童委員)  
みさぼーと (出雲広大、佐々木紀明) 読み聞かせ 後藤貴子、東海林伴子
- ( 4年 ) 杏授苑・伊藤美由紀 ロートピア緑泉・施設長 佐藤義勝 社会福祉協議会・木村節男
- ( 5年 ) 小西正一郎 (小西合名会社) 岡田和浩 (岡田書店) 竹村由広 (竹村衣料店)
- ( 6年 ) APP 藤岡誠人 (高橋造園) CDM 扇田 亮 (松乃木商店)

## 3年生 「六郷の自慢を守ろう」

3年生の総合学習は「六郷の自慢を守ろう」です。昨年度までは「六郷の自慢を見つけよう」でした。なぜ変えたかという、「見つけよう」では、見つけて終わりになってしまうからです。それを「守ろう」とすることで、その自慢が本当に自慢と言えるのか、大切な自慢であるならば、自分たちでどう守っていかなければならないかまで、考えさせたかったからです。

今回は7人の方が来てくださいました。写真にあるようにグループごとに分かれて、六郷の自慢を教えてもらいました。少人数なので、詳しいことも丁寧に教えてくださいました。こういった形で大人と話をする体験はとても大事であると感じました。来校くださった7人の方も、楽しかったとおっしゃってくださいました。



## 4年生 「未来の福祉をえがこう」

4年生の総合学習は「福祉」です。福祉に関する学習は、ややもすると、福祉とは何かを本やインターネットで調べ、福祉体験を行ってまとめて終わりというパターンになりがちです。そうではなく、子ども達なりに福祉の課題を把握し、少しでも改善できる方法を考え出し、これからの福祉のあり方を提案してほしいと願い、「未来の福祉をえがこう」というテーマにしました。

今回は上記の3人の方に来て頂き、お話をしてもらいました。伊藤さんや佐藤さんからは、それぞれの施設の状況について、木村さんからは在宅介護についてお話いただきました。中でも、佐藤さんからは、職員の人手不足があり、4年生の子ども達が大人になったら介護の仕事についてほしいとお話もありました。4年生の子ども達はたくさんの質問をしてくれました。3人の方からも「あんなに質問が出るとは驚いた。」という声がありました。これをスタートとして、4年生の「未来の福祉をえがこう」の学習が続いていきます。

